

題材名 「戦争と人々の暮らし」

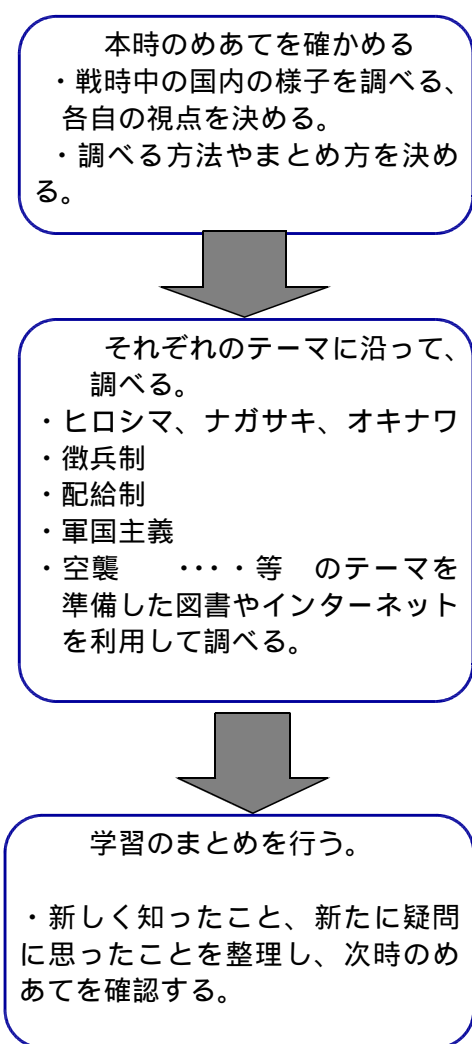
目 標

- ・資料やインターネットを活用し、戦争中の国民の生活を調べ、戦争が多くの国民に被害を与えたことを理解する。

コンピュータを活用する利点

- ・身近に戦争体験を語ることができる人的資源の乏しい校区にあって、戦争体験者自身や平和団体が開くWEBサイトは体験者の声を聞くことができる貴重な機会であると考えられる。
- ・戦時中の記録映像や写真の入手が比較的簡便に行うことができ、当時の人々の様子、被害の大きさを知ることができる。

授業の流れ



ICT活用場面

本時では、戦時中の国内の様子や被害の大きさについて、様々な資料を用いて知ることをめあてにして進めた。

子ども達にはインターネットだけでなく、書籍を用いて調べることを選択してもいいことを伝え、それぞれ自分の調べたいテーマに応じた方法で調べることとした。

前時に、調べたい自分のテーマについて、大まかに決めておくことを話していたので、多くの子どもが必要な資料を準備してきていた。その中で、インターネットを活用しようとしていた子どもは、用意した資料だけでは十分に調べられないと考える子ども なかなか図書室などで必要な資料を見つけることができなかつた子ども自分のテーマを絞りきれない子どもに分けられた。

インターネットの利用にあたっては、WEBサイト「戦争を語り継ごう」(<http://www.rose.sannet.ne.jp/nishihaha/senso/>)のショートカットを学年用フォルダーに用意し、その使い方を子ども達に指導した。「戦争を語り継ごう」では小学生向けのページについての表示があり、子ども達はそのサイトを中心に活用していた。

成果と課題

・自身の戦争体験について綴られたサイトが多く、戦争の悲惨さについて感じ取る子どもがいた。また、戦争の記憶や体験を伝えようとする人々の気持ちを推し量ろうとする子どももいた。

・小学生向けのサイトも多くあったが、6年生には難しい語句が多く、文章を理解するだけで精一杯の子どももいた。また、多くの子どもが戦争中の暮らしについて、今まで聞いた経験もない状態であり、テキストだけではなかなか理解しにくいようであったが、それぞれが用意していた図書や動画を利用することで補完できたようである。

ICT活用環境等

使用周辺機器	パソコン20台
使用ソフト	Internet Explorer
使用教室	コンピュータ室 図書室